

平成24年5月18日
新東名(静岡県)インパクト調整会議
静岡県
静岡市
浜松市
NEXCO中日本東京支社
国土交通省中部地方整備局

新東名高速道路 御殿場JCT～三ヶ日JCT間
開通後1ヶ月間の交通状況および整備効果

新東名高速道路の静岡県内区間のうち、御殿場JCTから三ヶ日JCTまでの延長約162kmが、2012年4月14日(土)15時に開通しました。

このたび、「新東名(静岡県)インパクト調整会議」において、開通後1ヶ月間(ゴールデンウィーク期間中を含む)の交通状況および整備効果を取りまとめましたので、お知らせします。なお今後も交通状況など、適時報告していきます。

<ポイント>

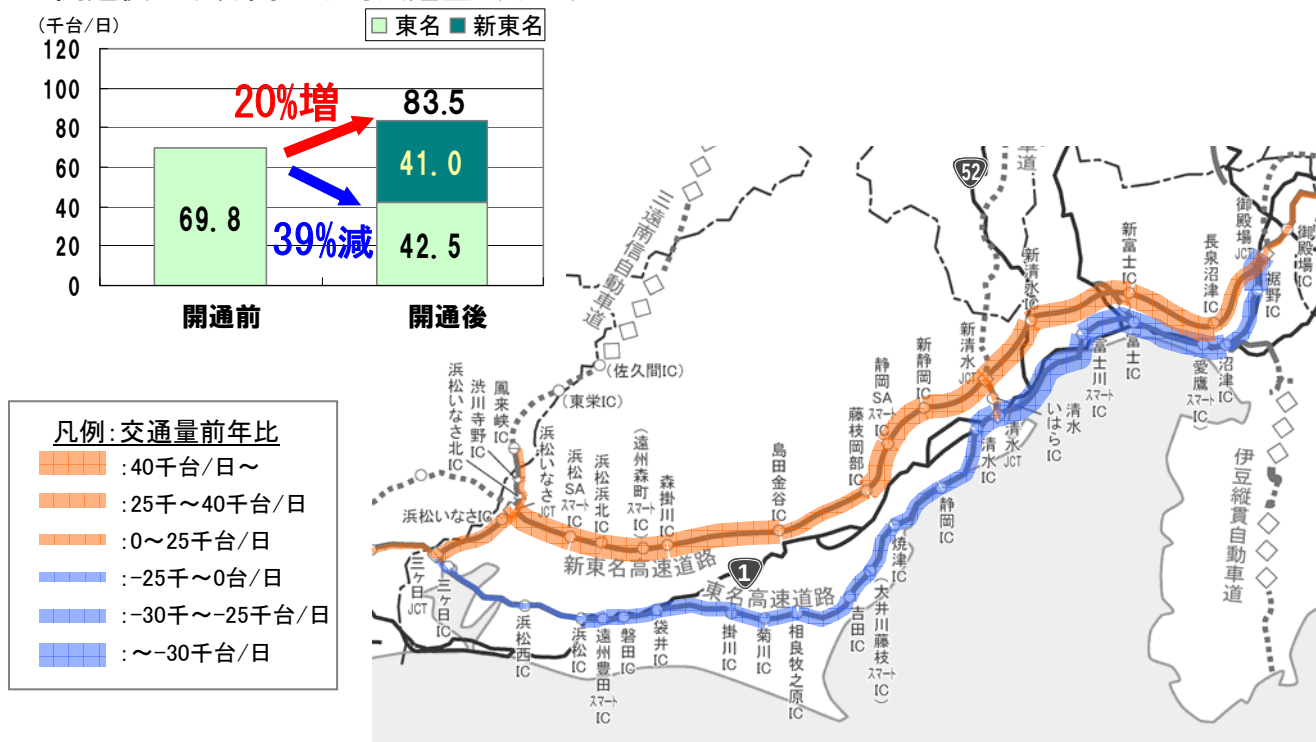
- 新東名高速道路の開通後1ヶ月間の平均交通量は、平日41千台/日、休日は57千台/日でした。
- 開通後1ヶ月間における静岡県内の渋滞回数は、昨年比べ9割減少しました。
- ネオパーサ(7箇所)の1ヶ月間の延べ来場者数は、593万人でした。
- 静岡県の内陸部に位置する道の駅では、過去のゴールデンウィーク期間中に比べ入り込み客数が最大で2.2倍に増加しました。
- スマートIC周辺地域の方から「街が便利になった」との声がありました。
- 休憩施設の防災救急機能の一つであるヘリポートを活用し、急病人に対しドクターヘリによる医療処置が迅速に実施されました。
- 4月23日早朝に発生した東名高速道路の通行止めでは、新東名高速道路への迂回傾向がみられダブルネットワーク機能が発現しました。
- 新東名高速道路に接続する三遠南信自動車道では、交通量が1.4～1.8倍に増加し、救急救命活動における搬送時間の短縮や周辺施設における観光行動圏の拡大などの効果が発現しています。

同時発表 (資料配付)	国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、静岡県政記者クラブ、静岡県社会部記者会、静岡市政記者室、浜松市記者クラブ、沼津記者会、神奈川県政記者クラブ、都庁記者クラブ、愛知県政記者クラブ
お問い合わせ先	中日本高速道路(株)東京支社 広報・CSチーム TEL 03-5776-5257(直通) 国土交通省 中部地方整備局 道路部 地域道路課 課長 棚橋 真澄 建設専門官 伏木 章尋 TEL 052-953-8170(直通)

1. 新東名高速道路開通 1 ヶ月間の平均交通量の変化

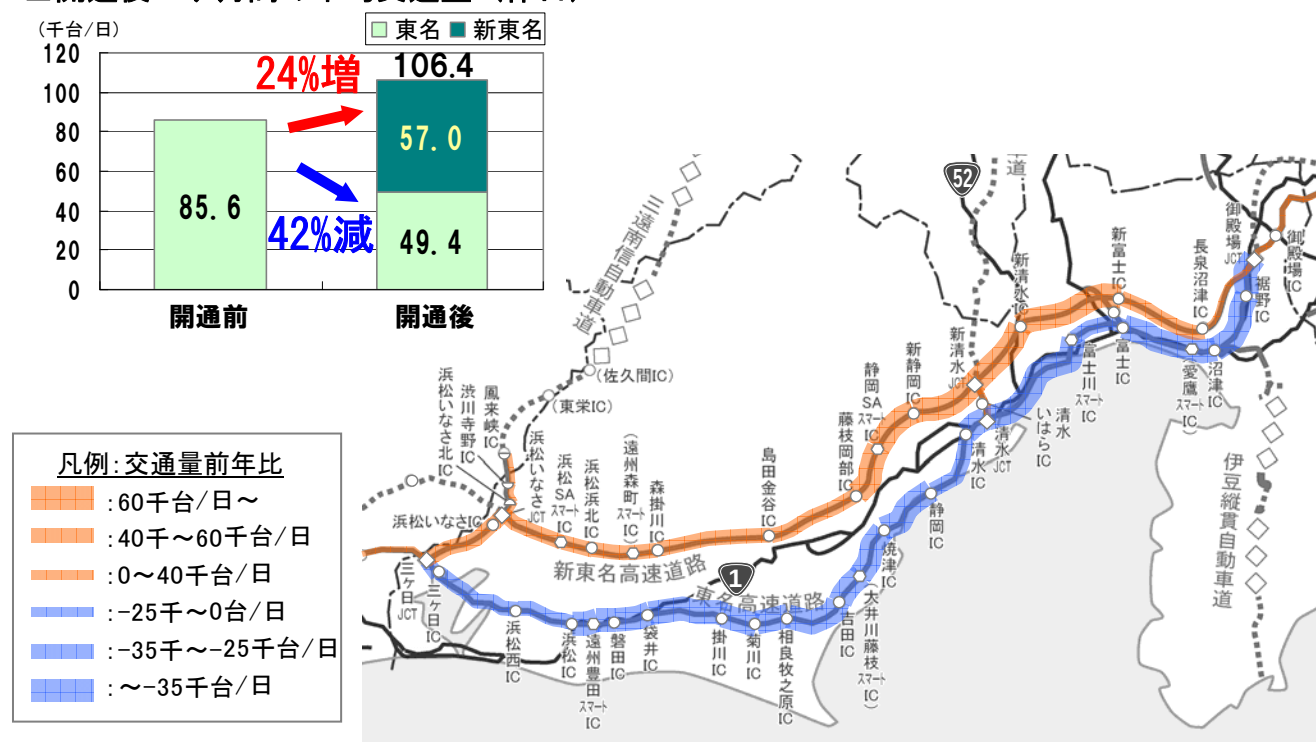
- ・ 新東名高速道路の開通後 1 ヶ月間の平均交通量は、平日 41 千台/日、休日 57 千台/日でした。
- ・ 静岡県内の新東名高速道路と東名高速道路の交通量の合計が 20 % 以上増加しました。
- ・ ゴールデンウィーク期間中は、県内全体で東名高速道路の交通量が大きく減少し、新東名高速道路の交通量が増加しました。

■開通後 1 ヶ月間の平均交通量（平日）



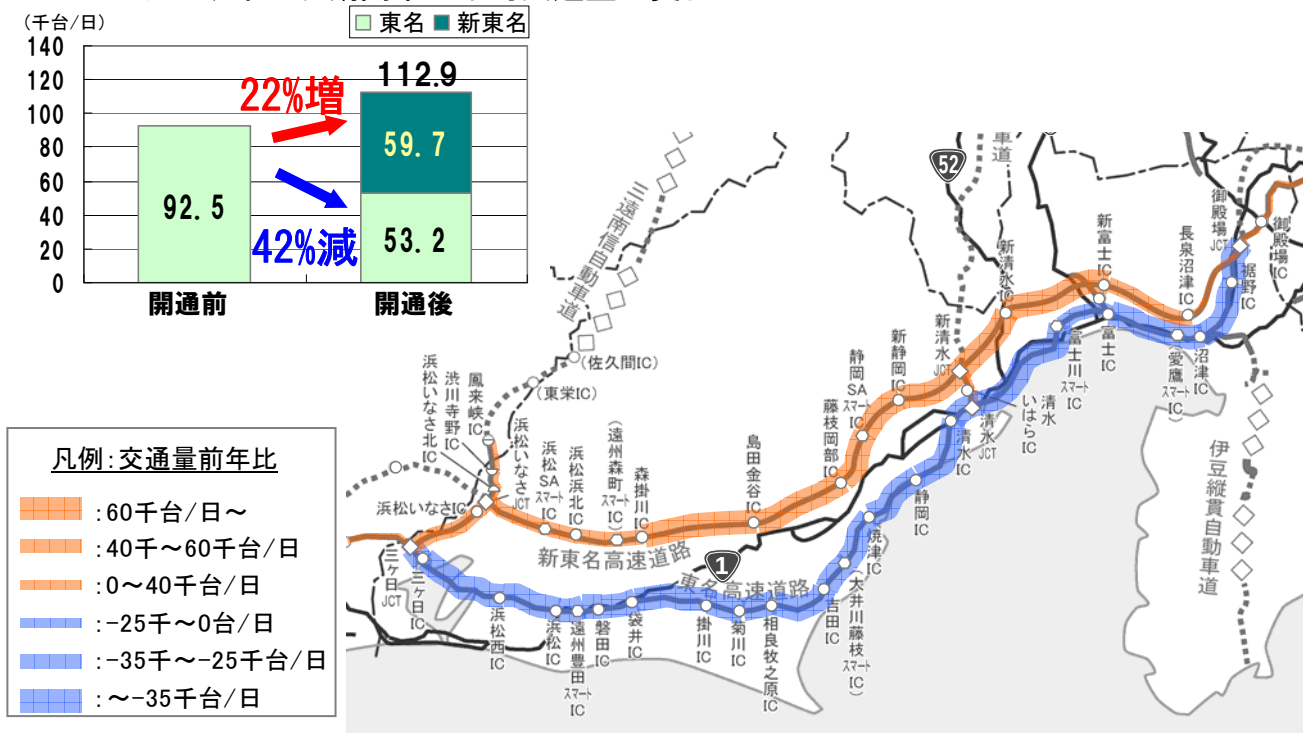
出典: NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 開通前: 平成23年4月17日(日)～5月16日(月)の平日
 開通後: 平成24年4月15日(日)～5月14日(月)の平日

■開通後 1 ヶ月間の平均交通量（休日）



出典: NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 開通前: 平成23年4月17日(日)～5月16日(月)の休日(土曜・日曜・祝日)
 開通後: 平成24年4月15日(日)～5月14日(月)の休日(土曜・日曜・祝日)

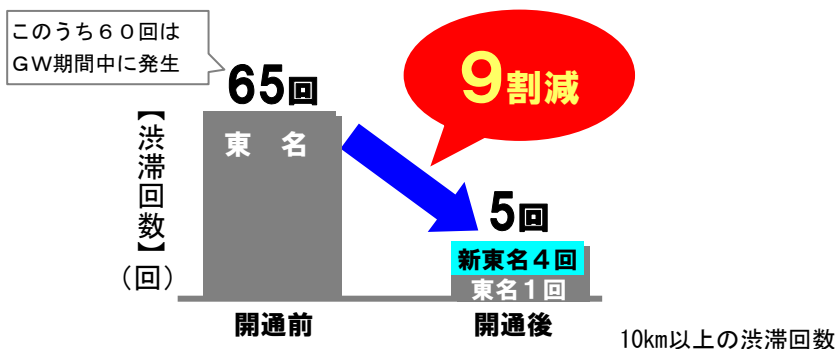
■ゴールデンウィーク期間中の平均交通量の変化



出典: NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 開通前: 平成23年4月27日(水)～5月6日(金)
 開通後: 平成24年4月27日(金)～5月6日(日)

2. 開通後1ヶ月間の渋滞状況の変化

- 開通後1ヶ月間に静岡県内で発生した10km以上の渋滞は5回で、いずれもゴールデンウィーク期間中に発生しました。
- 昨年同時期に東名高速道路の静岡県内で発生していた渋滞回数と比べ、約9割減少しました。



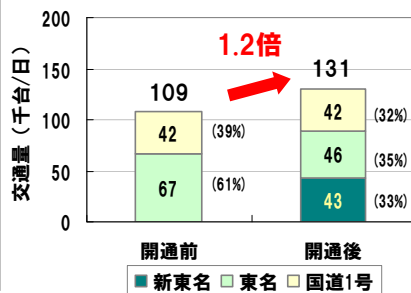
出典: NEXCO中日本データ
 開通前: 平成23年4月17日(日)～5月16日(月)
 開通後: 平成24年4月15日(日)～5月14日(月)



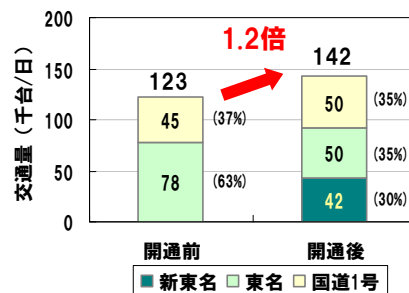
3. 静岡県内の主要断面における平均交通量の変化

- ・ 静岡県内の主要断面における新東名高速道路、東名高速道路、国道の断面交通量は、平日・休日とも全体で最大1.2倍に増加しました。
- ・ 地域別では、静岡県西部断面と静岡県中部断面の増加傾向が高く、静岡県東部断面の増加傾向は低くなっています。
- ・ 並行する国道は、国道1号静岡バイパスが4車化整備された静岡県中部断面において増加傾向がみられますが、全体的に大きな変化はみられませんでした。

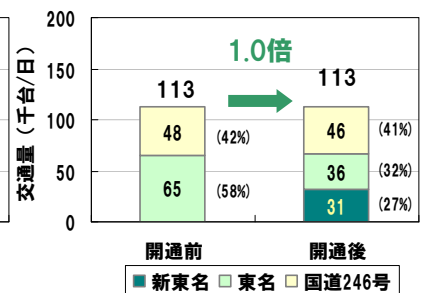
③ 静岡県西部断面



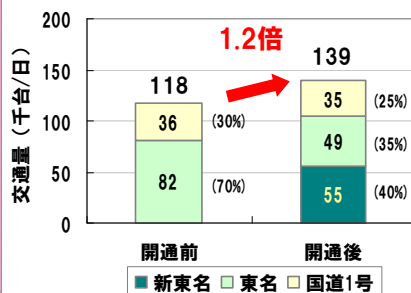
② 静岡県中部断面



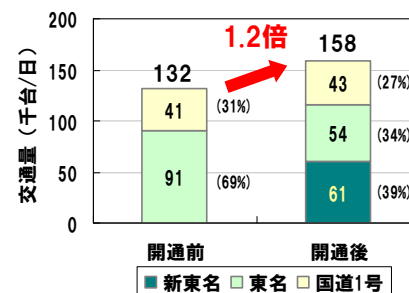
① 静岡県東部断面



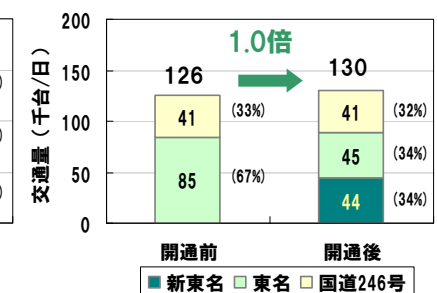
③ 静岡県西部断面



② 静岡県中部断面



① 静岡県東部断面



出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ

平日開通前：平成23年4月17日（日）～5月16日（月）の平日

平日開通後：平成24年4月15日（日）～5月14日（月）の平日

休日開通前：平成23年4月17日（日）～5月16日（月）の休日（土曜・日曜・祝日）

休日開通後：平成24年4月15日（日）～5月14日（月）の休日（土曜・日曜・祝日）

4. 新東名高速道路の商業施設(ネオパーサ)の利用状況

- ・ 新東名高速道路の商業施設であるネオパーサ（7箇所）の1ヶ月間の延べ来場者数は、593万人あり、一般道からのご利用も多数みられました。
- ・ そのうち、ゴールデンウィーク期間中の延べ来場者数は、277万人と多くのお客様にご利用いただいています。

■高速道路商業施設の利用状況

NEOPASA 清水



NEOPASA 駿河湾沼津



NEOPASA 浜松



NEOPASA 静岡

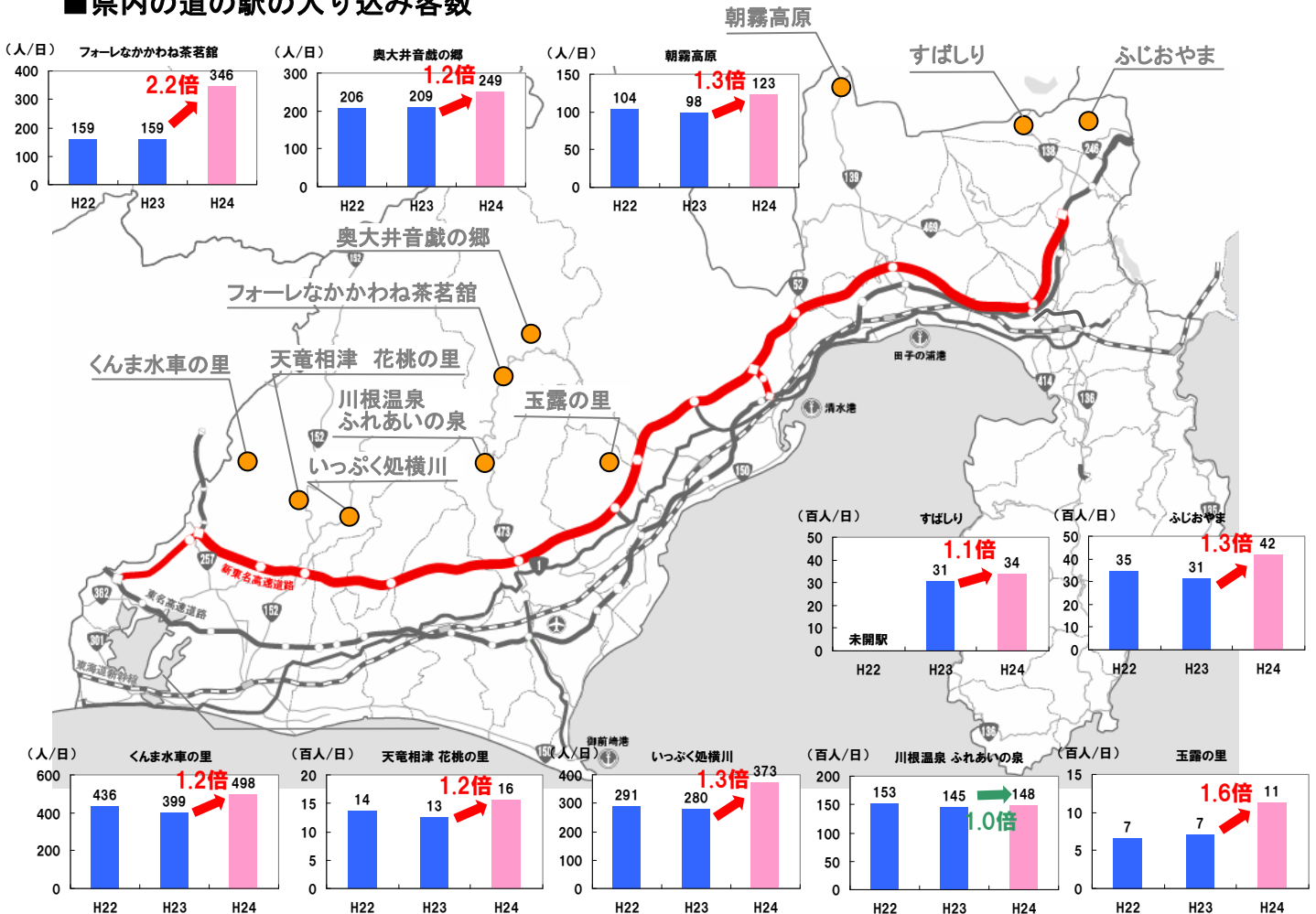


出典：NEXCO中日本
来場者数は平成24年4月15日～5月14日までの、各NEOPASA出入口での観測結果

5. 静岡県内の内陸部に位置する道の駅の入り込み客数

- ・ 静岡県の内陸部に位置する道の駅では、過去のゴールデンウィーク期間中と比べて、入り込み客数が最大で2.2倍に増加しました。
- ・ 道の駅管理者からは、「これまで来場が無かった県外の車が増加した」との声がありました。

■県内の道の駅の入り込み客数



・他県ナンバーの車がとても多く、今までになかったこと。若い方が多くなった。
(道の駅「くんま水車の里」)



・遠方(神戸・富山etc.)ナンバーの車を今までより多く見受けた。以前に比べて、若い方が来館し、お茶を飲んで下さった。
(道の駅「フォーレなかかわね茶茗館」)

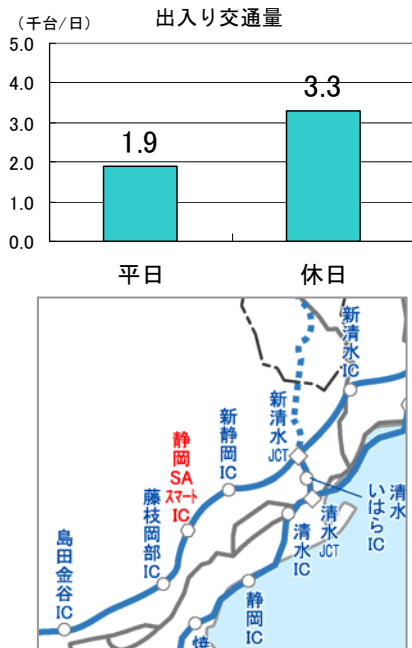


出典：道の駅アンケートによる入り込み客数（カウント方法は各道の駅による）
今シーズン：平成24年4月28日（土）～5月 6日（日）の晴天時
1年前：平成23年4月29日（祝）～5月 8日（日）の晴天時
2年前：平成22年4月29日（祝）～5月 9日（日）の晴天時
天気は、気象協会のホームページの静岡県（静岡市）の天気を参考とした
川根温泉ふれあいの泉の入り込み数は静岡県提供資料を参考とした

6. スマートICの出入交通量と周辺地域の声

- ・新東名高速道路のスマートIC（2箇所）の開通後1ヶ月間の出入交通量は、静岡SAスマートICでは、平日1.9千台/日、休日3.3千台/日でした。浜松SAスマートICでは、平日2.1千台/日、休日4.0千台/日でした。
- ・周辺地域の方からは、「街が便利になった」「高速道路の利用頻度が以前よりも増えた」との声がありました。

■静岡SAスマートIC周辺地域の声

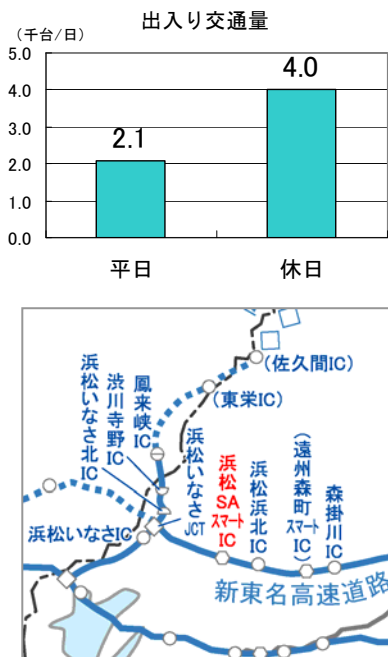


○静岡SA付近の住民の声

- ・SA内のラーメン店が24時間営業ということもあり、利用している。
- ・SA内にドッグランがあるので、散歩時に利用している。
- ・街が便利になっていることを実感している。SAがなければこんなに便利だとは体感できなかっただろう。



■浜松SAスマートIC開通による周辺地域の声



○都田地区の住民の声

- ・高速道路まで30分程度かかっていたが、新東名のスマートICが出来たことで、10分程度で利用できるようになり大変便利になった。また、高速道路の利用頻度も以前より増えた。



○浜松SA付近の住民の声

- ・浜松SAにはいろいろな店舗があって、休みになるとすごく混んでいます。近くに大きなレストランができたみたいでうれしいです。



出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
 平日：平成24年4月15日（日）～5月14日（月）の平日の平均
 休日：平成24年4月15日（日）～5月14日（月）の休日の平均（土曜・日曜・祝日）

7. 休憩施設における防災救急機能の発揮（ヘリポートの活用）

- ・ 新東名高速道路の休憩施設には、防災救急機能の一つとしてヘリポートがあります。
- ・ 遠州森町PAで発生した急病人に対して、ドクターヘリが出動し、医師による迅速な医療処置を実施することができました。

■ドクターヘリの離着陸（事例）

休日午後、遠州森町PA内で急病人が発生。浜松消防がドクターヘリの出動を要請、PA内ヘリポートに着陸。急病人は、迅速かつ適切な医療処置を受けることができました。

- 迅速な処置
- 1 午後 遠州森町PAで急病人発生
携帯電話で119番
 - 2 1分後 消防指令センターからの要請で浜松市消防局赤佐出張所から消防隊が出発
現地状況連絡からドクターヘリを要請（4分後）
 - 3 8分後 聖隷三方原病院のドクターヘリ出動
（医師・ナースが搭乗）
 - 4 10分後 ドクターヘリ遠州森町PA上空到着
浜松市消防局と調整しヘリポートに着陸、急病人のもとへ
 - 5 19分後 ドクターヘリが消防隊と合流
処置開始
 - 6 28分後 医療処置終了
その後、ドクターヘリで聖隷三方原病院へ搬送



当日状況写真：聖隷三方原病院提供



写真：浜松市消防局提供

- ・ 医療上、より早い医師による処置（ファーストタッチ）が重要であり、休憩施設にヘリポートがあることで、実現しやすい環境となった。
- ・ 新東名は山間部を通過し、近隣に医療施設がないため、ヘリでの搬送は有効である。



出典：聖隷三方原病院（医局）ヒアリング結果

- ・ これまでも、本線上などへの着陸はあったが、手続きなどに時間がかかった。しかし休憩施設にヘリポートがあることで、迅速に着陸できた。

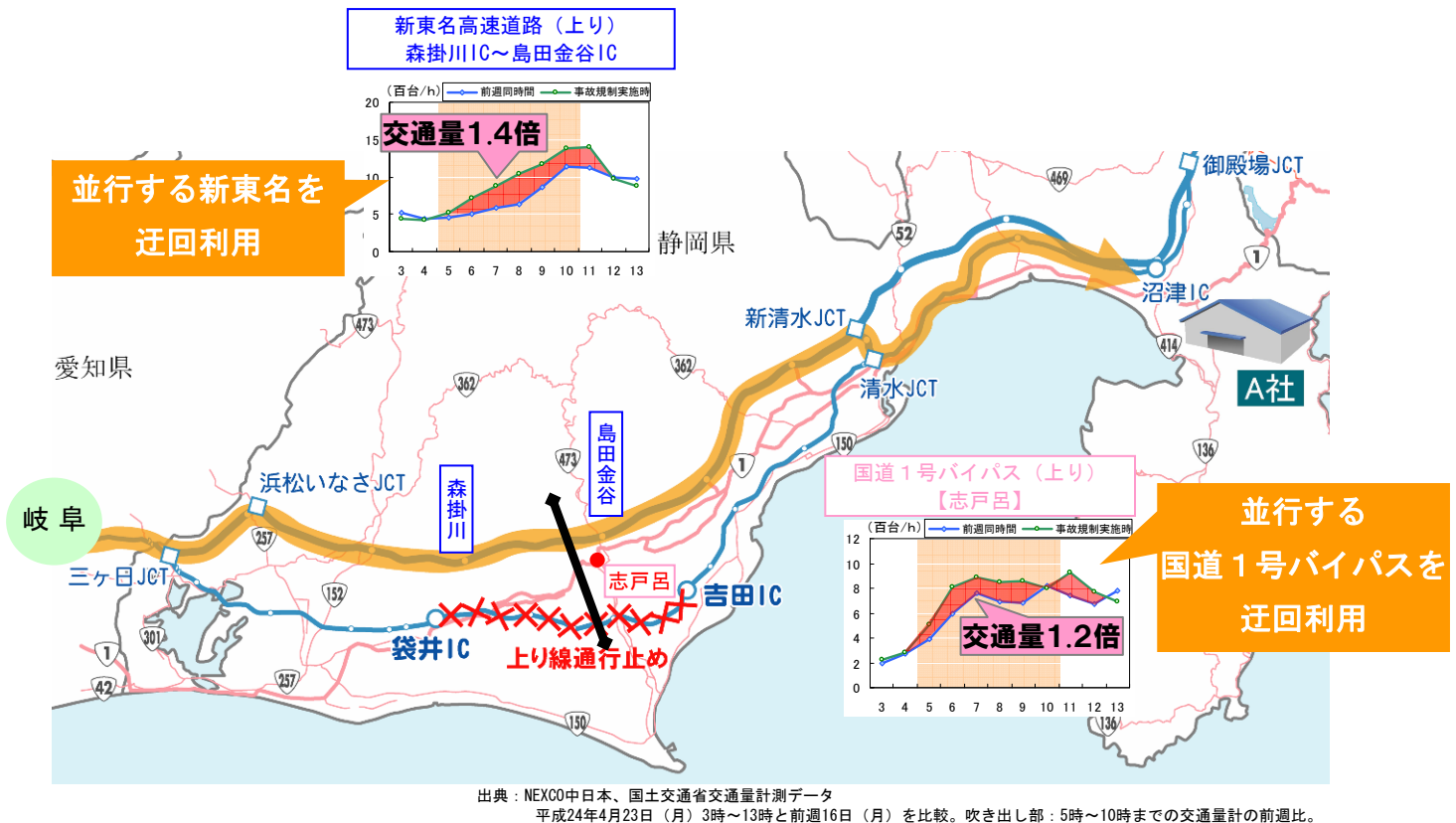


出典：聖隷三方原病院（ヘリ担当）ヒアリング結果

8. 東名高速道路通行止め時にダブルネットワーク機能が発現

- 4月23日早朝に発生した東名高速道路の大型車の事故による通行止め（4時45分～10時45分）では、新東名高速道路の交通量が前週の1.4倍となり、迂回によるダブルネットワーク効果が発現しました。
- 新東名高速道路を迂回利用した企業からは、「所要時間をロスすることなく帰社できた」との声がありました。

■東名通行止め時の交通量（上り）の変化（前週同時間比較）



■東名通行止め時に新東名を利用し迂回した企業の声

沼津市にあるA社では、午前7時頃に岐阜方面から帰社するトラックが2台あった。事前に通行止めの情報を入手したため、会社からドライバーへ新東名を利用するように連絡した。その結果、東名を利用する場合と所要時間はほとんど変わらずに帰社することができた。

- これまで一般道の迂回では倍以上のロスが生じたが新東名高速利用では、いつもと変わらない時間に戻ってくることができた。



出典：企業ヒアリング結果

9. 三遠南信自動車道の状況

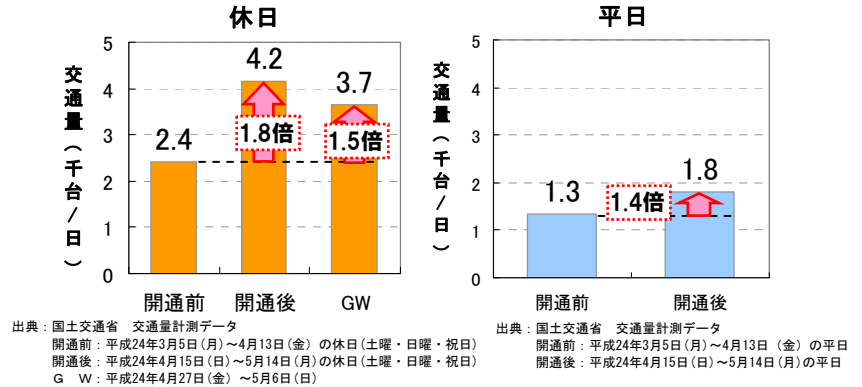
(1) 交通量の変化

- 新東名高速道路に接続する三遠南信自動車道の交通量は、新東名高速道路開通前に比べ、休日では約1.8倍、平日で約1.4倍に増加し、ゴールデンウィークには約1.5倍に増加しました。

■位置図



■三遠南信自動車道の交通量



(2) 救急医療の支援

- 奥三河地域の医療サービスは十分とは言えず、重篤の救急患者等は都市部の大病院に依存しています。
- 三遠南信自動車道・新東名高速道路は、都市部の大病院への搬送時間の短縮や、搬送患者への負担軽減等、円滑な救急救命活動に寄与しています。

■三遠南信自動車道・新東名高速道路を活用した救急救命活動



(3) 観光行動圏の拡大

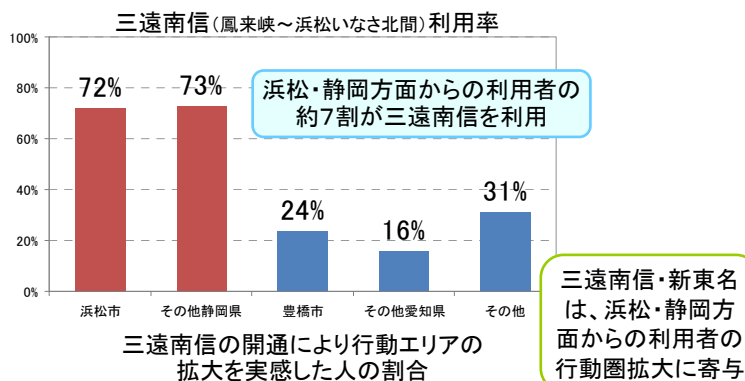
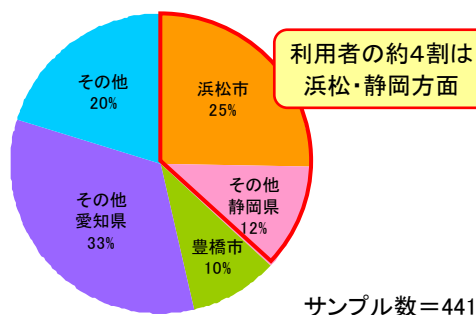
- ・ 新東名高速道路・三遠南信自動車道の開通により、一般観光客の南信地域における観光行動圏が拡大しており、とくに浜松、静岡方面からの利用者の観光行動圏拡大に大きく寄与しています。
- ・ 回遊性が向上したことから、浜松市の旅行会社では、三遠南信地域を周遊するバスツアーを新たに企画しており、浜松市方面からの観光エリアの拡大に寄与します。

■南信地域の観光施設（道の駅「信州新野千石平」^{しんしゅうにいのせんごくたいら}）の利用者アンケート実施結果



撮影日：平成24年5月5日

◆利用者の居住地



出典：国土交通省 道の駅での利用者アンケート結果 アンケート実施日：5月5日（土）、5月6日（日）

■三遠南信地域を対象としたバスツアーの利用経路

